

北陸地盤工学研究会の発足のお知らせ

大 深 伸 尚*

地盤にかかわる実務技術者が地質・土質工学に関して、これまで公けにされているデータでは北陸の地盤に関して説明できないことが多くなることや最新の技術情報などもなかなか入手できないで困っているといった話がでるなかで、お互いに知り得た情報を交換したり、整理し会ったりする交流の場が欲しいという願望が高まった中で、北陸地盤工学研究会が発足したわけです。

会の名称については色々な案が出されたが、地質さんは工学的特性の判断力に劣るのでとの話しや土木屋さんにはどうも地質年代や生成過程などがわからないので、いずれにも通用する名前ということと、新潟応用地質研究会に対応して、富山、石川、福井の仲間を集めようということから、北陸地盤工学研究会というちょっと堅苦しい名前に決まりました。

会員の呼び掛けについてはどこまでにするか、という議論の中で、新潟のように官学民一体となるようにするか、取りあえず仲間内で発足し、発展させていくかの2つに絞られましたが、前者では発足に時間がかかり、だめになる可能性もあるということから、リスクのない仲間内で始めようという話しになり、できるだけ発起人会の人達が知り得る人に声を掛けて会を発足しようということになり、平成4年の7月初めに声掛をし、8月1日に設立総会を開くというテンポの早さで会を準備したにもかかわらず、大変反響があり、当日までに58名という入会申込者があり、取りあえず20～30名というつもりが、大幅に増え、うれしい悲鳴とともに、これは一生懸命やらなければという思いで、ちょっと戸惑いもありました。

8月末には北陸地盤情報（創刊号）を発行し、第1回例会を10月31日に行い43名の出席がありました。

例会では、1.斜面崩壊について、大深。2.雷鳥の生息調査に参加して、田畑の2人が話題提供し、3時間におわたる研修会を行い、2時間の懇親会で楽しく懇談しましたが、このような例会を年3～4回の頻度で行う計画ですし、会報も同じような頻度で出したいと幹事一同張切っております。

会員については現在60余名ですが、お役所や建設会社、その他建設関連の方からも問い合わせや賛同の声があり、このままではさらに増えるものと思っています。

*アルスコンサルタンツ株式会社 代表取締役社長

今後の活動方針としては、会員相互の財産となるようなデータ集め、北陸の地盤工学的データを全国へ発信できるようにしたいという意気込みで取り組んでいます。

継続は力なりということで、ねばり強く会を進めていきたいと思っておりますが、同じ日本海岸のグループとして新潟応用地質研究会の諸兄と手をたずさえていきたいと思っておりますので、これまでの会運営のノウハウを御教授願います。

なおこの会は何時でも誰れでも申し込んでいただければ入会できるようにしてあります。

申込み先 北陸地盤工学研究会 事務局

〒920 金沢市三社町11-30-410

(信開ドムス三社410)

北陸地質研究所内

TEL・FAX 0762-24-9448